



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3027回 例会2024.5.9 No.1687



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

ソング 君が代 奉仕の理想**会長談話** 山田 益会長

私は毎週土曜日 Am7 時からの「石川和男の危機のカナリア」というTV番組を見ています。今回お話をするのは4/27の「石炭の時代」という内容です。



IEA:国際エネルギー機関のデータで、2023年の全世界の石炭消費量は、85億3600万トンで過去最大となっています。ちなみに1978年には約36億トンでしたので、237倍となっています。石炭の時代はまだまだ続いているという事です。人口大国インド、中国は石炭火力発電は、非常に多いのです。何といたっても石炭は扱い易く(石油、天然ガスに比べて)使い易さがありエネルギー源として現実のものという事です。新しい技術もどんどん出てきています。

IEA:2021年のデータで現在の世界の一次エネルギー消費量は、再生エネルギー6.7%、水力6.8%、原子力4.3%、天然ガス24.4%、石油31.0%、石炭26.9%となっています。国際会議COPにおいては、G-7、G-20の会議の報道によると、日本はいつも一番遅れていると日本国内新聞に出ますが、そんなことは有りません。日本の国内新聞報道が偏っているのです。G-7(主要7カ国:米国、欧州、日本)では、日本の石炭火力技術は高効率の最新技術を持っていて世界のCO2削減に貢献しているのです。G-20においては、インドなどの声が強く出ています。欧州については、ドイツ、フランス、英国の3カ国からの声が多いのですが、COPでは産業界同士の話では、日本が遅れているとはなっていません。欧州から日本に対して石炭火力をすぐ止めろと言われても、日本はついていけません。石炭火力発電と天然ガス発電については、ファイナンスが付かないと発電できませんが、東南アジア、南アジア勢は意外と天然ガスについては、カタールと長期契約をしています。「ファイナンス」は大変重要な事で、各国の開発銀行がついてくれないと、大きな投資の発電所は低利息の公的機関銀行がついてくれ

ないと出来ません。

次に、これから日本は石炭を使い続けられるかどうか、大きな問題です。地下資源の「天然ガス」と「石油」は後50年で枯渇、「石炭」は120年以上と言われていています。しかし石炭はCO2排出が大きくカーボンニュートラルには、新技術が必要となります。そこで「アンモニア」混焼実験が、4月1日より愛知県の「JERA:碧南火力発電所」で実証実験がスタートしました。アンモニアの熱量比20%でも想定通りに燃焼するかどうか確認をする予定です。

米山奨学生 金 起煥(キム ギファン)さん

2024年4月から2年間お世話になります。韓国出身の信大農学部3年生です。大学では植物について学んでいます。



みなさんどうぞよろしくお願い致します。

誕生祝

原田和愛・小松大介

結婚記念日祝

小林孝行・岩附 宏

在籍祝

登内豊明・小松肇彦

下枝正一(30)山田 益(24)

向山賢悟(8)本郷一博(5)

**幹事報告** 別紙をご覧ください**理事会報告概要**

1.5月のプログラム 2.5/9例会時間変更について
 3.慶弔見舞 4.観桜会収支報告 5.入会希望者について
 6.台湾東部地震への対応について 7.65周年記念旅行について
 これら全て承認された。

委員会報告 「雑誌紹介」青少年奉仕月間5月号「ロータリーの友」赤羽弘之副会長

この一年間、メンタルヘルスにフォーカスを当ててきました。ロータリーがメンタルヘルスのシ

システムを構築する強い力になれるのではないかと強く希望をしていました。実際に何十ものロータリーがメンタルヘルスプロジェクトを開催し、多くの皆さんがその活動を人々に伝える様に活動してくれたことは重要です。シンガポールでは子供たちのメンタルヘルスの問題に対処できるようスキルを学ばせ、アメリカコロラド病院の小児科でも活動を行っています。



このような活動を通じて、リーダーシップを発揮していく場となります。これは各クラブが拡大可能で持続可能な成果を生む能力を高めるはずで、この雑誌を読み終えたら My ROTARY のラーニングセンターにアクセスして、「より大きなインパクトをもたらす」という短い動画をチェックして見て下さい。皆さんのインパクトに焦点を合わせれば、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、良い変化を生む」というロータリーのビジョンを形にすることが出来ます。

横組み P7～特集記事、「青少年の育成を支援するということ」と題して、RYLA の取り組みが記載されています。

P8～第 2820 地区（茨城）のスケジュールとプログラム、その模様がわかりやすく記載されています。

P10～2660 地区（大阪北部）の模様も記されています。

P12～青少年との適切な距離を知りましょう。という記事で、セクハラ、パワハラにならないような注意書きがあります。わがクラブの会員の皆さんも今の若い方との接し方の上で、注意したほうが良いことが書かれているので、参考になると思います。

P14～「もっと知りたいパキスタン」ということでポリオの根絶がままならない国パキスタンについての紹介があります。

P18～能登半島応援特集、大阪中央 RC のキッチンカーを使った活動が紹介されています。

P30～米山奨学生便り、カザフスタンのトリモバグルザンさんのグルメ紹介の記事があります。

P36～松本城クラブの「まさにみんなの音楽祭」という投稿記事があります障害児のコンサートを企画したようで、大変心温まります。

縦組み P4～2650 地区の IM 基調講演で、県立高校の教諭小坂康之（やすゆき）さんの「サバ缶宇宙へ行く」と題した記事があります。同じネタでテレビ番組「激レアさんを連れてきた」でも話された内容ですが、何年もかけて先輩から後輩に託しながら JAXA の宇宙食に認定される様子はとても興味深いものがあります。

P13「米国はお米の国？」という記事は、私も前

から疑問に思っていたことを面白く説明していただきました。「ジャンバラヤ」というワードが出てきて、一気に子供の頃を思い出しました。

65周年記念旅行について 山崎秀亮次期幹事

伊那ロータリークラブは、今年度65周年を迎えます。

本来は60周年の際に記念旅行を計画しておりましたが新型コロナウイルスの為に中止となっていた為、65周年の今年度に、これまでの節目を祝い、メンバーの絆を深める為に特別な記念旅行を計画いたしました。



日程 2024年9月18日～9月19日

場所 東京（大相撲9月場所観戦 又は歌舞伎座・秀山祭九月大歌舞伎）夜は屋形船で宴席

2日目は東京を観光し、ランチ後に帰路につく予定です。

出席報告 会員数55名 内出席免除者17名
出席者26名 事前メーキャップ0名 出席率55.31%

ニコニコボックス

- ・山田 益 ようこそ金さん、よろしくお願い致します。
- ・藤澤洋二 キムさん、伊那 RC へようこそ。
- ・赤羽弘之 成田山新勝寺に行ってきた。
- ・唐澤洋祐 中尾歌舞伎春季講演に参加しました。
- ・菅 靖世 無事にトндеムンシジャンをオープンすることができました。

ラッキー賞

赤羽弘之・下枝正一
藤澤秀敬・唐澤洋祐
増田 清・平出吉範
唐澤幸利



クラブフォーラム

環境保全例会について

飯島松一職業・社会奉仕委員長

日時 2024年5月19日（日）

場所 羽広ボーイスカウト
「希望の森」野営場

9：30 セレモニー

9：45 作業指導、植樹の説明
作業開始（藪刈り、植樹）

11：30 作業終了

11：40 野営場にて食事

12：00 解散

服装 作業着（長袖、長ズボン）、長靴、軍手、ヘルメット等

持物 スコップ・三本鍬・なた・草刈り鎌・ビーバー・チェーンソー等

